



たるが如く一昨夜より歌舞伎座に於て開演

したるに定期前には既に會場所致の如く來應者詰の掛け定期に達したる時は入場拒絶をなしたる程の盛況なりしが演劇は例に依りて一般公衆として覺悟す讓座せしめたる程の妙に入りたり尙昨夜も前夜に較らざる盛況なりし

練習艦隊に對し司令官藤村兼吉、艦長土官

室　土官永室には開港二十五年史一節宛、  
準士官以上には開港二十五年紀念繪葉書一  
冊宛又下士以下には開繪葉書一枕宛寄贈す  
る筈

近事片々

▲統監　府吏僚殊に慕僚と稱せらる人近が

▲事務官唯命是從へば可なるも、事務官

として、統監の方針不解とは噓ならむ怪べし  
 ▲其理 由は統監の人格大にして容易に計り知られずとは何處迄俗吏根性を現す喩也  
 ▲統監の脚底針る可らざる大抱負あり英雄の心事を解せずと面黒し

▲矧川 志賀氏曰く韓國統監には伊藤公最

も遠征なりと人の考は矢張り面の異なる如し  
 ▲統監 府吏僚や胡川氏には大分交も存  
 良きも人民の愛は如何あるべきや其氣遣し  
 ▲一進 會員の重立なるもの宋隆相の邸に  
 爲し我儕數萬の會員各將本國般に迫る也と

▲我々 會の爲に財産を蕩盡如何にもす可  
らう閣下は大亞の奇子に似せうと云ふ林有

▲所。悲境に沈溺するも閣下は醒さるやと益々窮迫幾相閣下顔色土の如しと云ふ  
▲此説の眞偽は知らざるも宋氏の一進會に於ける聲望頗に墮落し煩悶一方ならずと  
▲因果は越る小車は最初刊行して大五の

椅子を贏ち得たり今更不知顔の半兵衛は非

▲日韓貿易は著しく減退し商船社の積荷米穀は驚く斗り減少せりとは歎息すべし

▲原因は種々あるべきも暴徒威嚇は重要なべし之を思ふも地方鎮定の急務を感ず也

▲水災君近頃放逸に流るとは困つたもの

祖父の面影を多少だに保存せられかし。

▲近は一美女を愛出して離れんとするも  
兎角彼之に従はず爲に怒て放逐せりと云  
▲我が 岩倉公爵の大男具幸氏赤坂藝妓に  
深く打込み一萬金にて浮溜の花とせりとど  
▲華胃の 身にして斯る行爲に沈溺して耻

▲**諸君**の社債は價格百磅に付九十八磅に

て期限三ヶ月政府元拂利保證にて成立せり  
 ▲而も 非常の好評を以て迎へられしとは  
 甚路れし帝國の潮州經營は前途益々多留也  
 ▲九日 日相模玉格表見山を倒し乾海伊勢  
 嶺を倒す双方共氣成して人氣餘り引立てず

▲駒と 梅どの 芝居場満場の喝采を以て迎

へらる駒のハナハナ送られて梅の敗とは案外也  
▲本場 所は國見荒布帯陸の途中休場と雨  
天とで人氣落ち終に龍頭蛇尾に終りたる也  
●舉行したるに來會者六百名見物人約三千

其の死を以て官女の手跡と爲す

10





